

# 県南思考 Vol.25

## 特集：生活再建へ一歩、また一歩

2019年9月9日未明、大型台風15号が千葉県に上陸。建物は暴風雨によって破壊され、停電と断水で市民生活はマヒ状態。そこから立ち直る余裕も与えずに再び襲いかかった台風19号。この2つの台風によって、農業、漁業、林業、観光など、県南のあらゆる産業は「かつて経験したことのない」ほどの被害を受けました。こうした事態に、国、県、市は、さまざまな支援策を発動。住まいの修復、事業の立て直しへ向けた資金援助。生活再建に向けた足取りは、ゆるやかながらも一歩また一歩と、着実に進みつつあります。



## 特集：生活再建へ一歩、また一歩

たて続けに襲った自然災害の猛威。  
被害を乗りこえ、暮らしを再建。  
県南復旧に向け人々は動きだした。

東京湾フェリー、あるいは館山道で訪れた観光客が、南房総観光の入口として立ちることが多い観光スポット「ばんや」。保田漁協直営とあって、つねに鮮度の高い魚介類が用意され、地域のランドマークとして人気を集めています。

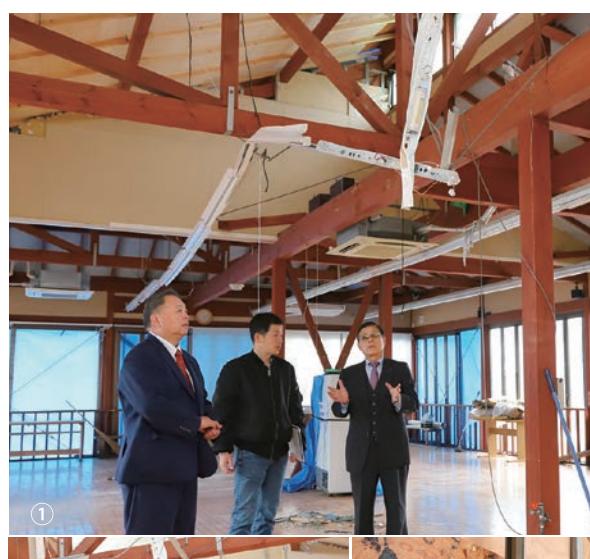
その「ばんや」に台風15号が襲いかかったのは昨年の9月9日。

強風で窓ガラスや入口ドアが吹き飛ばされ、天井も抜けて建物の中は水びたし。屋根の一部が吹き飛んで前の道路をふさぐなど、

「いったい何があったのかと、目を疑うほどの光景でしたね」と、朝になって現場を訪れた時の印象を語る同協同組合事務長の加藤周平さん。

「修理を急ごうにも、どこも工務店の奪いあいで、なかなか順番が回ってこないんです」

ようやく一部で営業を再開し観光客は戻りつつあるものの、使用できる席数が限



①屋根が飛ばされ水びたしになってしまった本館フロアで加藤事務長（中央）に説明を受ける三沢県議（左）木下県議（右）②③吹き飛んだ天井、たれ下がったままの照明器具が暴風雨の強さを物語る

られているため、「せっかくいらしてくださいのお客さまを断わることが多い、それが何よりつらい。保田の魚を求めてばんやにいらしてくださる多くのお客様のためにも、1日も早く元の状態に戻したいで

すね」

と、春の観光シーズンまでの完全復旧をめざし、作業に追われています。

### 「世界が変わった」トリプル災害

960ヘクトパスカル。過去最強クラスの勢力で千葉県に上陸した台風15号。

最大瞬間風速48.8メートルの暴風雨（館山市、9日2時31分記録）によって、倒壊もしくは屋根が飛ばされるなど県南全域で住宅被害が続出。館山市に限っても、全壊76棟を含むその数は、約6000棟にのぼりました（昨年11月末現在、館山市役所）。



▲（右から）館山市の川上孝総合政策部長、田中豊副市長に館山市の被害状況を聞く両県議

停電と断水で市民生活はマヒ状態。

多くのビニールハウス、ガラスハウスが強風で破損し、特産品のびわ、花卉類が大きな被害を受けました。

水産業では、漁船や漁具倉庫が被害を受けただけでなく、各地に設けられた生簀のポンプが停電で使用できなくなり、大量の伊勢海老やアワビ、サザエが死滅。

旅館、民宿はキャンセルが続出し、台風は地域の観光にも大きな暗い影を落としました。

その台風15号からわずか一ヶ月後の10月13日、19号が再び関東地方を通過。

屋根のブルーシートは強風に引きちぎられ、南房総市を中心に再び大規模な停電と断水が発生。さらに追い打ちをかけるように降った10月25日の豪雨。

これまで何度も大きな台風に襲われてきた南房総ですが、これほどまでに自然災害が連続したことはおそらく初めて。

いま、生活再建は、どのように進んでいくのでしょうか。

### 復旧を後押しするエネルギー

生活再建にまず必要なのは住まいと資金。

政府は一連の暴風雨被害を受け、県南の



3市1町に対し激甚災害の指定を決定。さらに千葉県は昨年12月の補正予算で約470億円の支援策を打ちだしました。

この結果、破損した一般住宅の修理費用について一定額の補助金が出ることが決定。

農業、漁業、林業、畜産業などについては、国の補助に県が上乗せする形で支援を行い、これを受けて、被災したビニールハウスなどの修復も始まっています。

南房総市富浦で半世紀以上、びわ栽培に取りこんできた石井一雄さん（72）。

「露地とハウスでびわを栽培していましたが、鉄骨製のビニールハウスが3棟とも、くの字にねじまげられ、ハウス内のびわの木も強風で葉がもまれ、ほとんど落葉してしまったんです」

ハウスとは比較にならないほど被害を受けたのが露地栽培。

「倒れて根がむき出しになっているものや、どれほどの風にやられたのか、幹が裂けているものも多く、8割方やられてしまって途方にくれました」

新しい苗を植えつけたとしても実をつけ、それが商品になるまで数年以上かかるびわ。



▲鉄骨のフレームがねじまげられてしまった石井一雄さんのビニールハウス。ハウス内の葉はちぎれ、露地栽培では根こそぎ引き抜かれて無残な姿をさらした



▲近所では被災したままのビニールハウスが多く見られる

それでも石井さんは苗木の手配とハウスの建て直しを決断し、再スタートを切りつつあります。

「国や県から補助が出ること、せがれが後継者として育っていること、このふたつが背中を押してくれました。富浦のびわといえば、皇室に献上するほどのブランドで、地域の特産品です。なによりも、それをすたらせてはいけないという強い思いでどうか」

おいしい魚を求めてくる客の笑顔、特産品を育ててきたという強いプライド。再建に向かう背景はさまざまですが、もうひとり、県南に対する強い思いから再建に向かっている方がいます。

館山市波左間にある会員制リゾートホテル「ウェストペニンシュラホテル」。

台風によってエントランス、レストラン、客室の窓ガラスが破損し、大量の雨水が流れ込んだことで、一億円を超える大きな被害を受けました。

「当ホテルは目の前に広がる西岬の景観を楽しんでいただくために、リゾートホテルとして2017年にオープンしたんです」と、上田拓右社長。

レストランには海を一望する開放的な

全面ガラスを採用。

「丘の上ですし、風も強いでしょうから、それらを計算の上、厚さ12ミリという特別なガラスで設計させていたんですが、想像を絶する強風に粉々に砕けてしまいました」

さいわい建物の被害は保険に入っています



▲再建に向けた熱い思いを語るウェストペニンシュラホテルの上田拓右社長

たため、修復費用をまかなうメドは立ちましたが、「ようやく足場ができたぐらいで、修復にどれくらいの期間がかかるか。その間いつさい収益が上がらないなかでス

タッフを抱え続けなければならない。問題は山積です」

それでも再開に向けて進んでいるのは、「この西岬が持っている素晴らしい景観ですね。世界中、旅をしましたが、これほど素晴らしいところはなかなかない。私はこの景観に惚れ込んでいるんです」



▲多くの客を魅了してきたレストランも客室も無残なことになってしまった。ようやく足場が組まれたが、いつになったら修復できるか見えない

県南の自然、風土に対する強い愛着。それも大きなエネルギーとなって、復旧に向かう足取りを一步、また一步、しかし着実に後押ししているようです。



被害の概要と復興計画を語りあう（左から）安房地域振興事務所/河口靖行所長、三沢県議、木下県議で、それを支える意味から県内で宿泊した人の宿泊費を、ひとり一泊あたり5000円補助し、旅行者にとって割引となるプログラム「ふっこく割」を実施。また、「がんばろう！千葉」キャンペーンを実施し、側面からのバックアップを予定しています。国の激甚災害指定を受けて、河川など、インフラ整備が進みますので、うまくすみ分けする形で、県としてもキメ細かな支援を実行していきたいと考えています。

## ■復旧・復興のための補正予算額 (台風15号、19号、大雨被害)

対象	予算額
住宅の修理費用など生活再建	38億5300万円
農林水産業、中小企業の再開支援	306億2000万円
社会福祉施設の復旧費用	7億3400万円
道路、港湾の復旧、倒木対策など	100億6600万円
学校その他県有施設の復旧	17億6900万円
計	470億4200万円

## Pin Point

### インタビュー

## 県の担当におたずねします

一連の自然災害による被害と今後の復興支援について県のご担当にうかがいました。

### かつてない規模の自然災害 市民生活は混乱におちいりました

これは千葉県全体のデータになりますが、強風によって全壊333棟を含む59,975棟が建物に被害を受け、罹災証明も69,489件にのぼっています。今回、停電がいつそう市民生活を混乱におちいりました。ピーク時で、台風15号の際は641,000軒、台風19号が138,500軒、10月25日の大雨の際にも26,500軒と大規模なものになり、倒木が復旧活動をさまたげ、長いところでは復旧まで最長で16日間かかった場所もあります。また各地で断水も発生し、台風15号では133,474戸で最長17日間、台風19号では2,491戸で最長5日間、10月25日にも4,699戸で最長3日間と、市民生活は大きな影響を受けています。

### 農業、漁業、観光、その他 地域産業が受けた被害は？

安房農業事務所がまとめたデータによると、台風15号の被害が最も大きく、ビニールハウス、ガラスハウスの被害額は約40億円にのぼっています。作物別にみると、びわ、花卉類が特出していて、びわだけで6億円以上。花卉類ではカーネーションの被害が最も大きく、次いでストックの順で被害額が多くなっています。畜産業では畜

舎の倒壊や家畜の死亡、また、停電による二次被害で生乳を廃棄せざるを得ず、一連の自然災害による農業被害額を安房全域で合計すると、10月末時点で、作物関連が18億円、農業施設が約49億円と、大変な数字になりました。漁業に関しては、県南各地の漁協事務所などが破損した結果、保管されていた漁具も水につかるなどの被害にあり、漁船も多く破損しました。特長的なのは水産物にも被害が多かった点で、停電によって生簀に保管されていた魚介類や冷凍品が被害を受けています。中小企業に関して言えば、3市1町の合計で建物や設備の被害など、106億8200万円(2735事業所)にのぼっています。

### 住まい、仕事。生活再建に向けた公的な支援計画を教えてください

今回、県の補正予算によって一部損壊の住宅の修理費用に対し独自の支援が行われるようになりました。農業、漁業、林業、畜産業については、国の補助に上乗せ、あるいは従来の県の補助率より上乗せして支援されることが決まっています。中小企業に対しては、事業活動の再開に向けた融資を実施。また、旅館や民宿は建物被害もあることながらキャンセルが相次ぎ、風評被害で客足が戻らないなど被害が拡大しております

# 特集：生活再建へ一歩、また一歩

結びの対論

## 三沢県議×木下県議

台風が大型化していく可能性もある時代。  
発想を転換させ、インフラ整備を  
根本から見直す必要があります。

**三沢** 昨年暮れの12月20日、千葉県議会の本会議場で採決が行われ、約500億円の補正予算案が可決されました。

**木下** その内、およそ470億円が一連の自然災害対策に当てられることになり、今後、復旧活動が本格化することになります。

**三沢** それにしても台風15号はすごかったです。ガラスは揺れるし、サッシの隙間から水が入るし。翌朝、様子を見に外に出たら近くで電柱が倒れていたので愕然としました。

**木下** 家が揺れるほどの風で、とうとう寝られずに、そのうち停電になってしまった。一夜明けてクルマで地域の様子を見に行つたんですが、風の通り道があったんでしょうか。自宅周辺の千倉より、白浜の方が瓦が飛んだり、道路が不通になっていたりして被害が大きかった。

**三沢** 風がおさまったら、とたんに皆さん片づけを始めたでしょう。たちまちゴミの山ができてしまった。さて、これをどうするか。放っておくと收拾がつかなくなるので、すぐに館山市と相談して、集落単位で被災ゴミを置く場所を決めました。

**木下** 今回は停電が混乱に拍車をかけましたね。地域によっては、携帯も固定電話も使えない。ご承知のように鋸南町が大きな被害を受けたわけですが、電気、電話が通じなくて陸の孤島のようになっていたので、かなり時間が経っても被害が伝わらなかった。たしか若い女性だったと思いますが、SNSで情報発信して、ようやくテレビ局などが注目するようになったんです。

**三沢** 館山市では台風15号に備えて避難所も設けたんですが、41所帯、64名しか利用されずに公民館で足りたそうです。

**木下** それはそうでしょう。まさかあれほどの大暴風雨になるとは思わないし、みんなに長い時間、停電になるとは思ってもみなかつたですから。私なども懐中電灯を枕元に置くぐらいで、何の準備もしませんでした。

**三沢** それが19号の時は1174世帯、2329名という数になって、公民館だけでは無理なので、小学校や、コミュニティーセンターを避難所に開放していました。

**木下** やはり15号の被害を目の当たりにしたので、自宅では危ないという思いになったんでしょうね。

**三沢** 最終的には、一番安全と思われる南総文化ホールも開放して、館山市にある県の施設ですが、南房総市の方も受け入れる体制をとったんです。

**木下** 今回、ありがたいなと思ったのは、各地から駆けつけてくれたボランティアの活動ですね。

**三沢** この号で取材させていただいた「ウェストペニンシュラホテル」も、ボランティアの拠点になって、ホテル側が寝る場所とお風呂を提供してくれた結果、ずいぶん長い間、活動してくれました。



**木下** 地域の消防団もフル稼働で、南房総では一軒一軒、家の損壊状況を見て回り、レポートにまとめてくれたんです。

**三沢** 館山市の消防団は先頭に立って、地域の皆さんや建設協力会と一緒に市内の災害ゴミの片づけに取り組み、さらに海岸に打ち寄せられた漂着ゴミなども同様に始末していただきました。地域によって活動内容は異なりますが、頼もしい存在ですね。

**木下** 9月18日に、自民党千葉県連に災害対策本部を設立し、災害対策本部長代行という立場で、自民党本部、首相官邸などに出向き安倍首相に直接お会いして1日も早く激甚災害に指定して、手を差しのべてもらうよう依頼しました。

**三沢** 同じ日、安房地区選出の県会議員は、それぞれ鋸南町から鴨川まで、1日がかりで被災地の実情を見て回りました。現場に立って、被害の大きさを実感するのが第一歩だと思ったからなんです。

**木下** こうした動きもあって今回470億円という、かつてない規模での復旧予算が決まったわけですが、農家のビニールハウスなどは共済に入っているなくても、国や県、市の補助を受けて、10%の自己資金で再建が可能になった。水産業に対しては所属する組合に対してカバーすることになります。

**三沢** 個人の住宅についても、一部損壊を含めて、修繕費の補助が出るようになりました。

**木下** 今回、とくに痛感したのは政治の力ですね。自民党県議団が知事や国を動かしたと言っても過言ではないはずです。

**三沢** 国会議員にかけあって、発電車や発電機をお願いした結果、病院や福祉施設に手配が進み、停電中でも透析患者がいつもの治療を受けることができました。

**木下** それでも、地球温暖化の影響か、海水温が上昇傾向にあり、今後、こうした超大型の台風が当たり前になる可能性もあります。

**三沢** これまでとは違った発想によるインフラ整備が必要でしょう。また、家屋の解体処理や市町村への人員補充、健診自己負担金の無料化。電源車購入やコミュニティ施設への補助制度、流木ゴミの処理など多くの課題も見えてきました。

**木下** 加えて今回は、台風の直接的な被害もさることながら、停電、断水といつぱり二次的な災害で被害が拡大した側面が多くあります。今後のことを考えると、大きな視野のもと、例えば電柱の地下ケーブル化とか、浄水場に別電源を確保するとか、県南全体で考える必要がありますね。

**三沢** コストがかかるので一朝一夕にはいかないかもしれません、国道、県道沿いだけでも検討していく。そんな時代が来ているのかもしれません。

### 木下 敬二（きしたけいじ）

南房総市・安房郡選出  
昭和23年5月17日生まれ  
事務所/〒295-0005  
南房総市千倉町牧田164-1  
TEL: 0470-44-4111  
FAX: 0470-44-4112  
<http://kishitakeiji.com/>  
e-mail: info@kishitakeiji.com

**主な議員履歴**  
●自由民主党千葉県支部連合会関係  
総合企画水道部会／部会長  
商工労働企業部／部会長  
筆頭副幹事長  
政務調査会長  
  
●千葉県議会関係  
総務常任委員会／委員長  
農林水産常任委員会／委員長  
予算委員会／副委員長  
議会運営委員会／委員  
千葉県環境審議会／委員

### 県南思考 Vol.25

発行: 2020年1月12日  
制作: 「県南思考」制作委員会  
編集: 式守編集工房  
デザイン: TMS  
南の風を県政に。南房総選出の県議による「県南思考」は市民の皆さんとともに、県南のあるべき姿を追い求めていきます。本紙をお読みになった感想、ご要望、その他ご意見は各県議の事務所までお気軽に寄せください。



### 三沢 智（みさわさとし）

館山市選出  
昭和29年11月14日生まれ  
事務所/〒294-0037  
館山市長須賀470-1  
TEL: 0470-22-3051  
FAX: 0470-22-3052  
<http://misawasatoshi.com/>  
e-mail: office@misawasatoshi.com